

執筆者紹介（掲載順・敬称略）

野呂靖

龍谷大学専任講師

河上麻由子

奈良女子大学准教授

藤原智

大谷大学真宗総合研究所東京分室PD研究員

佐々木勇

広島大学大学院教授

編集後記

『日本古写経研究所研究紀要』第二号をお届けいたします。

河上氏の御論攷は、古写経本を現存する諸版本と比較し、本文が合致しないことにより刊本大藏経以前の写本大藏経系統に比定するという従来の消去法的推断に留まらず、唐宋皇帝の避諱欠筆の確認により積極的に唐代写本系統であることを立証するものであり、古写経の本文系統を探る上で大いに参照すべき手法と言える。

佐々木氏の御論攷は春日版「五部大乘経」刊行に際し、先行流布している経典の調巻が尊重されたことを実証するものであるが、同様の事例は高麗（守其『校正別録』大集経）にもみられ、経典の編纂・刊行が単純に教理（本文）の問題のみでなく、実際面（既存経典との対応）にも配慮している点は興味深い。

末筆となりましたが寄稿いただきました先生方、並びに編集実務にご尽力賜りました編集委員の先生方に心より御礼申し上げます。

（上杉智英記）

日本古写経研究所研究紀要編集委員会

編集委員長 落合俊典 国際仏教学大学院大学教授

編集委員 デレアヌ フロリン 国際仏教学大学院大学教授

編集委員 藤井教公 国際仏教学大学院大学教授

編集担当 上杉智英 国際仏教学大学院大学附置  
日本古写経研究所主任研究員

平成二十九年三月一日 発行

日本古写経研究所研究紀要 第二号

発行者 落合俊典

発行所 国際仏教学大学院大学附置日本古写経研究所

〒一〇〇〇〇三  
東京都文京区春日二―八―九

印刷所 株式会社 三陽社

〒一七五―〇〇八二  
東京都板橋区高島平九―十三―七